

令和 7 年度第 2 回 広報モニターアンケート結果

調査期間:令和 7 年 7 月 10 日～7 月 21 日

調査方法:Google フォーム

調査対象 広報モニター20 人

回答数 15 人

※自由記述は原文ママ。ただし、「特になし」等は省略

市長が市の取り組みを紹介する動画「もりりんの宝塚ナビゲート」について

市民をはじめとした多くの方が市政に関心を持ち、市政を自分事にしてもらうため、市の重要施策や取り組みなどを市長が動画で説明する「もりりんの宝塚ナビゲート」略して「もりナビ」を発信しています。

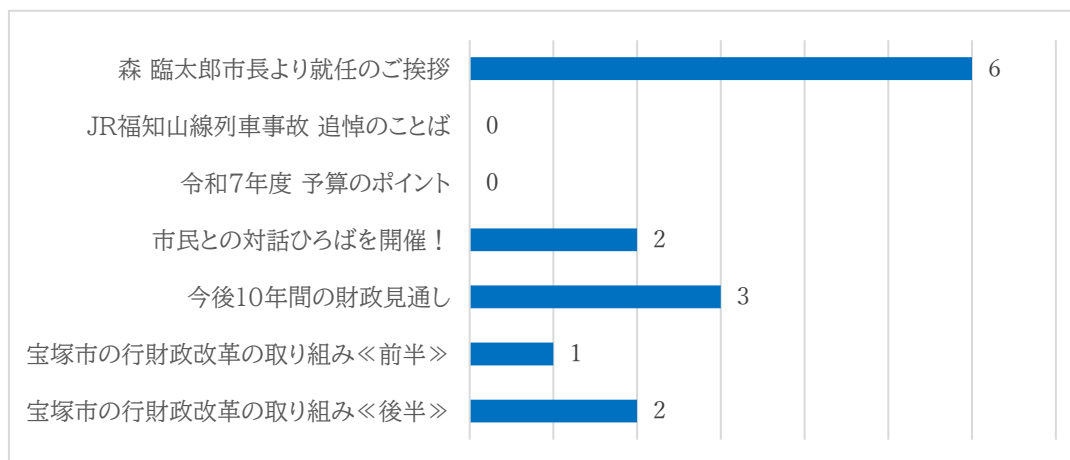
市公式 YouTube のショート動画から、いずれか1つをご覧いただき次の質問にお答えください。視聴はこちらから(<https://www.youtube.com/playlist?list=PLuXltGLhkLsbGeUPzW-SyVvnKn0I5D4st>)

Q1. 本企画へのご意見をください

- ・ ショート動画だと見るのにハードルも高くなくいい企画だと思う。ただわざわざ宝塚市の YouTube を開くこともなく、この動画の存在に気がつきにくい。
- ・ 「もりナビ」についてなのか、「もりナビを見るモニター」についてなのか、いきなり「本企画」とあっても何を指すか分かりかねると感じました。「もりナビ」ならいい試みだと思し、「もりナビのモニター」なら登録したモニターの調査が来たので視聴したというだけなので何の意見もありません。
- ・ 動画配信で宝塚市の行政を発信するのは、市長の考えがわかるのでよい試みだと思う。
- ・ 市長と市民との壁が低くなった気がする。
- ・ 冊子などで読むよりも動画にすることで気軽に見られるいいと思いました。
- ・ 「もりナビ」のような動画配信があることで、市政が身近に感じられるようになりました。
- ・ 今までにない企画で内容に興味がありました。今のタイミングで発信されるのは効果大だと思う。
- ・ 良いと思います。
- ・ 動画なので見やすい。
- ・ 正直、小児科医の市長には期待していませんでした。しかし、このように開かれた市長との対話の場ができたのはまず一歩だと考えます。期待しております。

- ・ 大変良かったです。
- ・ 市長が分かりやすく活動していることがとても伝わりました
- ・ 森市長が市の取り組みを紹介する動画「もりりんの宝塚ナビゲート」を見ました。森市長が宝塚市の取り組みやイベント情報をお届けする「もりりんの宝塚ナビゲート」の動画配信はわかりやすく行財政改革の取り組みを紹介されていると思います。宝塚歌劇の市民全席貸切公演の開催見送りについてなど、行財政改革に取り組まなければならないことがよくわかりました。【もりナビ】の市民との対話ひろばを開催という記事にも興味を持ちました。森市長が「市民と市長の対話ひろば もりりんと語ろう」を開催してくれることはとても素晴らしいことだと思います。
- ・ 市長がみずから市民に問題、課題を話しかけるという企画は評価出来るが、どの動画も話が雑、大雑把、抽象的で、聞いていてフラストレーションが溜まる。短時間でという制約があるのなら、市長の話を裏打ちする事実、資料等を市民が見られるよう動画を文章等に展開する必要があるのではないか？「詳しくは〇〇へ」と関連した HP へ誘導するといった方法が考えられる。市民は「短い動画でないと、見ないだろう」という前提で作っていると拝察するが、この動画を観るのは市政への関心が高い人が多いので、「やっています」感を出すだけの企画は見透かされることになりかねない。「短時間で印象操作をする」という SNS の弊害が問題になっているが、市の広報までもが同じ轍は踏むようなことはやめてもらいたい。
- ・ 市政に関心を持つきっかけ作りとして、とても良い企画だと思います。広報誌でも同内容を拝見しましたが、市長が直接お話をくださる動画になったことでよりわかりやすくなっているように感じます。ただ少なくとも私は、このショート動画を拝見して市長に親しみは感じられませんでした。それは市長が終始真面目な表情で、考えていることを淡々と話しているだけに見えるからだと考えます。もりりんと呼ぶことで少しでも親しみやすさを感じてほしいということであれば、ショート動画冒頭で「(男女の声)もりり～ん！」「(市長)は～い！」くらいフランクなやり取りを毎回やっても良いのではないのでしょうか。視覚的に親しみやすさやとっつきやすさを出すために、もちろん内容にはよりますがもっと笑顔で話すようにしてみたり、もりナビの時だけ胸元に「もりりん」と大きく書いた名札を付けたり、ナビゲートのタイトルに合わせてバスガイドさんのような三角の旗を持ってみたり、内容はもちろんですが視覚的にも市民が見てみたくなるような工夫はまだまだたくさんできるように思います。

Q2.視聴した動画を選んでください



Q3. 視聴した動画の感想を教えてください

【森 臨太郎市長より就任のご挨拶】

- ・ 端的でわかりやすい。字幕も見やすい
- ・ 新市長の挨拶を通じて、市政の方向性や今後のビジョンを直接市長の言葉で聞くことができ、とても親しみを感じました。
- ・ 市長の手の動きが気になりました。手ばかりが目立つ動画で、もっと原稿でなくこちらを見て話で欲しい。
- ・ 文章化すれば、一枚の画面に収まる話。余りにも内容がなさ過ぎる。
- ・ 宝塚市を前に出した、名前とかが良かったかも。もりりんは近い方にしか通じないかも知れません。また、市内の観光地画像とか指し入れたり、まちを視察(散歩)しながら、熱く市政について語るのも、良いかと思いました。

【市民との対話ひろばを開催！】

- ・ とてもフランクな雰囲気に参加してみたいなと思いました。主人にもこういう会があるらしいよとその日のうちに話しました。
- ・ 全て視聴させていただきました。対話ひろばコミュニティとして大切です。

【今後 10 年間の財政見通し】

- ・ 早口すぎて理解が追いつかない。チャンネル登録の文字や cityTakarazuka@ のロゴと画面の字幕が重なっていて、読みにくい。もう少し、字幕を上配置できないのでしょうか。
- ・ 財政が現実的なものとしてとらえやすかった

【宝塚市の行財政改革の取り組み《前半》】

- ・ むやみに税金を使うのではなく青少年に宝塚観劇的を絞った政策は好感が持てる。でもそもそも財政難であるならば観劇人数を絞って募集した方が良い。例えばペア 2 組とか？

【宝塚市の行財政改革の取り組み《後半》】

- ・ とにかく、財政の赤字は積み重なってきたもの。抜本的な改革は1番の課題と思います。市長の手腕が試され時ですね。
- ・ 私の妹も障害を持っているためとても興味をもちました。これから少しでもいいように進めていけたらいいなと思います

【複数視聴した人の意見・総評】

- ・ 一つしか選択できませんでしたが、全て観ました。「もりりん」というのは親しみを持ちやすい愛称でありながらもフランクすぎる印象があるので、「もりナビ」だけの方が受け入れやすかったです(選挙運動中、市の広報誌などで重用されている細川貂々さんが市長のポスターやチラシに何度も寄稿されており、そこで「もりりん」が使われていたことから不信感やマイナスイメージがあるのかもしれませんが。斎藤知事とメルチュの関係ではないですが、市と契約『利害関係』のあるイラストレーターが堂々といち候補者を応援しているのは何となく嫌な感じでした)。どの動画も分かりやすい反面、省かれた部分が気になるところもあり、「詳しくはどこそこを見て」と案内するとかリンクを繋ぐとか(例えば市民の声を、と言いつつ市役所のどこへ意見を送ればいいのかは明示がなく、各々調べる感じなのかと受け取りました。コメント欄でもオッケーとありましたが、具体的にこちらのメールフォームから…等あると市民の声を集めよう、聞こうというのがポーズではないと感じられます)、アクセスしやすいようにしてもらえるといいなと思いました。
- ・ 森市長が市の取り組みを紹介する動画「もりりんの宝塚ナビゲート」を見ました。森市長が宝塚市の取り組みやイベント情報をお届けする「もりりんの宝塚ナビゲート」の動画配信はわかりやすく行財政改革の取り組みを紹介されていると思います。宝塚歌劇の市民全席貸切公演の開催見送りについてなど、行財政改革に取り組まなければならないことがよくわかりました。もりナビの市民との対話ひろばを開催という記事にも興味を持ちました。森市長が「市民と市長の対話ひろば もりりと語ろう」を開催してくれることはとても素晴らしいことだと思います。
- ・ 全ての動画を視聴させていただきました。
 - ・ コメント欄を開放するのであれば返信をするか、ハートを付ける等何かアクションをとったほうが、公式アカウントとしての印象が良いのではないかと考えます。個別に対応できないのであれば、コメント欄はクローズした方が良いのではないのでしょうか(その場合、問い合わせ先・問い合わせフォーム等を概要欄に記載する必要はあると思います)。
 - ・ 市長の話に字幕がついているのは、多くの人にわかりやすく情報を届けるという点でとても

良いと思います。聴覚障害者や日本語話者以外の人はもちろん、音を出せない環境での視聴時でも、すべての人に公平に内容を伝えることができるのではないのでしょうか。またいくつかの動画では、字幕を付けずに話の要点のみを文字入れされていましたが、その場合はYouTubeの字幕設定を利用して、話している言葉を話しているスピードに合わせて文字化できるように設定することが必要だと思います。すべての視聴者に公平に情報を届けられるよう努力する姿勢が大切であると考えます。

・市長の話のみでは重要な点・キーポイントがわかりづらいこともありますので、ショート動画の最後に、内容の要約(スクリーンショットをとればおおまかな内容がわかるような、1枚に概要をまとめたもの)を掲載すると、よりわかりやすくなると思います。

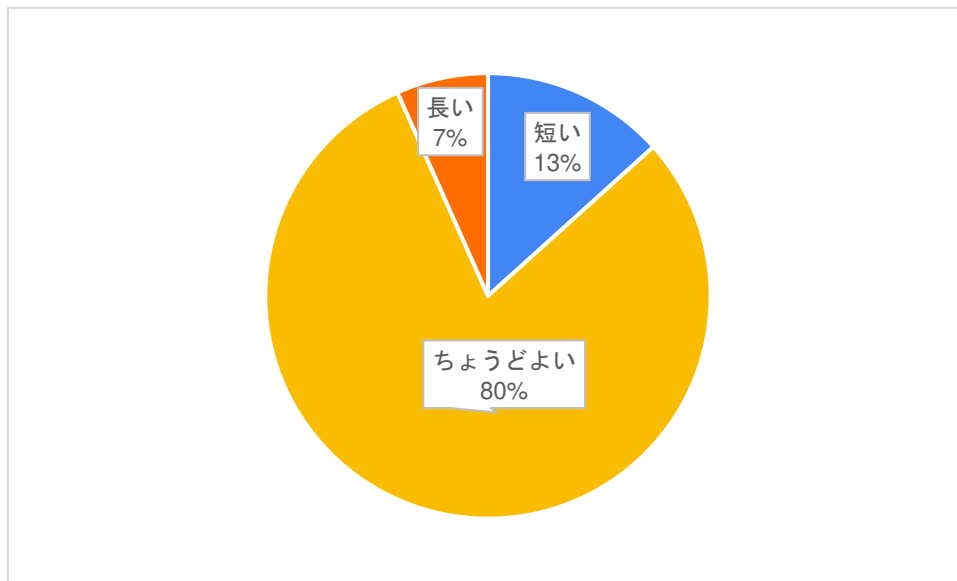
・宝塚市のコメント欄にも見受けられましたが、他の一般のショート動画を見ていると、概要欄にアクセスできない方が多くいる印象です。実際にスマートフォンからは到達しづらい仕様だと思います。そこで、概要欄と同じ内容をコメント欄に記載しておくことで、わかりやすくなると思います(YouTubeの仕様変更でリンクは張れませんので、URL先に飛ぶには視聴者が手打ち入力する必要があります)。

・カメラのピント調整が常に動いていて、ショート動画を見慣れている私としては気になります。おそらくカメラのオート設定を解除すれば動かなくなると思いますので、修正していただきたいです。

・ショート動画のサムネイルだけを見ても、何の動画なのかわからないところが非常にもったいないです。①宝塚市長の話であること、②テーマ、の2点だけでもサムネイルを設定して一目でわかるようにすると、今後動画が増えていった時にも見やすいのではないかと思います。また、関連動画を多く見ている人におすすめとして表示されることもありますので、そうした意味でもファーストインプレッションは重要ではないのでしょうか。うまく使えば宝塚市の知名度アップや人口増・ふるさと納税収益増にも繋げられると考えます。

・「もりナビ」で「市民との対話ひろば開催」を告知したのであれば、1開催ずつの所感をショート動画として投稿するか、手間がかかりすぎるのであればコミュニティに投稿後「もりナビ」のハッシュタグをつける等して、結果報告とともに次回開催の告知に繋げるよう最低限周知に努めることをしても良いのではないかと思います。同内容を市長のInstagramアカウントには投稿できて、宝塚市のアカウントには投稿しないのは違和感があります。”

Q4. 視聴した動画の長さについて教えてください



Q5. 今後、動画で取り上げてほしいテーマがあれば教えてください

- ・ 市が運営する遊び場等の案内
- ・ 子育て支援について。小児科医であることに期待をしています。子育てしやすいまちづくりについての構想や情報発信をしてほしいです。
- ・ 自転車走行ができない歩道、具体的には JR 宝塚駅の線路に沿った歩道や、花のみちの歩行者専用時間帯の自転車走行が横行してします。危険に感じるので、宝塚市としての考えを伺いたいです。
- ・ 道路のこと。例えば橋が休日必ず混む。市役所前の右左折、直進を分ける工夫。道路拡張とか
- ・ 宝塚駅や逆瀬川駅周辺の再開発、道路整備、バス路線の見直しなど、日常生活に関わる都市整備の計画や課題について、市長の考えや今後の展望を聞いてみたいです。
- ・ 具体的な政策に対する成果もその都度お願いします。
- ・ 部活動地域移行、小学校老朽化や子どもの多すぎの学校への対応など。こどもまんなかについてお考えを聞きたいです。
- ・ 子育て、介護について
- ・ 随時進行中の改革はお知らせください。あと、問題点も。
- ・ 歴史、文化も大事ですが、小学生の子ども達が活躍する、スポーツ、音楽、芸術イベントを増やしてほしいです。
- ・ 宝塚市役所の各部署のお仕事内容の紹介
- ・ 市長の顔を映すだけでなく、問題、課題になっている現場、事態等を動画で紹介してほしい。
- ・ 宝塚市ナビゲートのタイトル通り、市内や施策内容などを案内するような企画。
- ・ 市長のInstagram個人アカウントのように、その日行ったことの紹介・報告等スピード感

を持った投稿。

- ・もりナビで広報を行ったことの結果報告。
- ・季節のイベント紹介や伝統行事の紹介など、宝塚市に愛着を持てるような企画。
- ・「宝塚市ってどんなところ？」と聞かれた時に、紹介できるような動画。

Q6. 多くの市民にみてもらうための改善案などがあれば、自由にご意見をお寄せください

- ・ 宝塚市の魅力や近辺の子ども向けの遊び場をまとめるインスタグラマー等に PR してもらい、リンクをシェアしてもらう。
- ・ 広報誌とか市長の言葉が載るチラシなどに QR コードを載せたり、市役所内のサイネージで流したりする
- ・ 宝塚市の広報誌、宝塚市ホームページ、LINE でお知らせする。閲覧した人に、宝塚市の特産品を抽選でプレゼントする。
- ・ FM 放送で森市長の取り組みとか YouTube を見てくださいなどアピールするとか？
- ・ 動画の内容はとても分かりやすかったのですが、もっと親しみやすい雰囲気を出すために、ナレーションやテロップを少しポップにしたり、市民の声やインタビューを交えたりすると良いと思いました。特に若い世代や子育て世代にも届くよう、SNS との連携を強化してほしいです。
- ・ 服装が一緒なのは撮り溜めですか。ラフな服装でも気持ちの込め方で印象が変わると思います。
- ・ 質問を募集したり、毎週決まった日に市政情報を発表先出ししたり、もりりん市内を視察してみた件。とかタイトルを動かしてみたり。わくわくする様のが良いです。”
- ・ 宝塚の観光スポットで視聴自ら市民の声を拾う。人が多い場所へ出向いてのぼりなどでアピールする
- ・ 市長、「えっと」は言わないようにした方が良いです。少ない方だとは思いますが、聞きにくいです。
- ・ 帰省や休みに宝塚に来られる方も、入りやすい開催事やイベントを増やして、地域交流ができれば隣接する市や町の向上にもつながるのでは、ないかと感じます。国際交流で、教育や医療が学べる町のテーマを広報、発信するのも幅広い年齢の方たちが、期待されるはずです。
- ・ 市民との座談会を動画でアップして欲しい
- ・ 子どもから大人、高齢者までたくさんの市民に見てもらうために、宝塚市のキャラクターや手塚治虫のアニメに出てくるキャラクターたちが紹介するアニメ風の宝塚市を紹介する動画を作ればよいと思いました。以前に制作していたような宝塚歌劇風のミュージカル仕立てのビデオではなく、わかりやすく宝塚市を紹介するアニメやマンガを作してほしいです。手塚治虫ゆかりの宝塚市なので、「マンガ王国鳥取」のような「マンガ帝国宝塚」のイメージでマンガや

アニメを宝塚市でも取り上げてほしいです。

- ・ 市長が取り組みを語るという趣旨は結構だが、市が「もりりん」と愛称を市民に押し付けるのはいかななものか。選挙運動中の動画のようにも思えた。市長がカンペをチラ見しながら話しても、説得力はない。行政現場で汗を流す人の動画も見たい。
- ・ ”市のリソースを割いている以上、すべての市民に公平に情報を伝えられるように努力していく必要はあると思います。例えば広報誌に記載されている「もりナビ」の案内についてですが、YouTube の方は QR コードから宝塚市のチャンネルに飛んでそこからどうすれば「もりナビ」が視聴できるのか不明です。チャンネルトップページに飛んだあと、再生リストまで案内する必要があります。また Instagram の方は QR コードから宝塚市のアカウントには飛びますが、そこからリールのページに移動する必要があり、こちらも案内がないので不親切です。また、QR コードが読み取れない場合の URL の記載がないので、その場合は自力で検索してたどり着くしかなく手間がかかります。

おそらく市民の多くがみているであろう広報誌で周知する場合ですが、現状どのようなテーマのショート動画が投稿されていて、1動画あたり何分くらいで視聴できるのか等、端的に列挙してあると動画を視聴するハードルは低くできるのではないかと考えます。

インターネットにアクセスできる人だけ、や、指定の日時に公民館へ行ける人だけ、がより良い情報を得られるというのは不公平に思います。ですので、全世帯に配布されている広報誌に、最低限何を動画投稿していて何をしたのかくらいは詳細の記載があっても良いのではないかと思います。